

令和3年度事業報告

令和3年 4月 1日から

令和4年 3月31日まで



公益財団法人

阿蘇地域振興デザインセンター

ASO DESIGN CENTER

I. 概 要

令和3年度は、熊本地震から5年目を迎え、多大な被害が生じた JR 豊肥本線や主要国道などの復旧・復興が進み、基幹産業である観光の回復が期待されたが、前々年から収まらない新型コロナウイルス感染拡大の第4波、第5波、そして第6波と続く最中にあり、第7波も予測されており、阿蘇地域の多方面に大きな影響を与えています。

しかしながら、「WITH コロナ」という新たな環境のなかで対応できる取り組みを積極的に受け入れ、例えば YouTube や SNS を活用した地域の観光情報や地域のコロナ感染症対策の発信を図ると共に、アフターコロナにおける人材不足や担い手不足、さらに起業家の育成を目的に、次世代の人材育成などに取り組むなど、柔軟性を持って事業遂行し、事業予算における執行率の向上に努めて参りました。

観光振興では、コロナ感染拡大による訪日外国人旅行者の大幅な減少に加え、国内旅行者も度重なるまん延防止等重点措置の適応・解除の繰り返しにより増減しています。

また、昨年度2月末に起こったロシアのウクライナ軍事侵攻は、今後の成り行き次第では、訪日外国人旅行者数への影響が心配されるところです。

しかしながら「新型コロナワクチン接種」の普及に伴い、国内旅行者の増加を図るために、消費者が望む感染状況や新型コロナ感染症対策などに関する的確な情報発信や対応策の構築を図っております。

このように日々激動する社会情勢のなか、平成29年度から令和3年度までの5か年間の中期計画の最終年度にあたることから、「阿蘇 リレーション～つながる阿蘇～」をコンセプトに令和4年度から令和8年度までの次期中期計画の策定を行いました。

また、事務局長の任期満了に伴い、全国公募を実施し新たな中期計画を遂行するための新事務局長を選任し運営体制の強化を図ることが出来ました。

公益目的事業1「豊かな世界ブランドの確立」における1-エ「世界ブランドの推進」(阿蘇ジオパーク推進協議会)事業においては、令和4年度が世界審査にあたることから、日本ジオパーク委員会の事前審査の指摘により、事務局の所在が火山博物館から当財団に移籍となりました。



公益目的事業2～地域の元気再生による地域力の向上における2－エ「人材育成事業」においては、熊本大学や金融機関と連携して、ビジネスを通じた地域課題の解決を目指すための人材育成塾～あそ未来創造塾を開講し11名の第1期修了生を送り出しました。

公益目的事業3～観光地域づくり法人(DMO)として、全国観光圏推進協議会関係や観光庁の研修会、各種会議などに関しては、コロナ感染拡大の影響もあり、リアルからリモートが多くなり、その対応に追われた年度でありました。

また、国際的な観光見本市である「ツーリズム EXPO ジャパン2021」が中止となったことから、日本観光ショーケース in 大阪・関西に出展し、阿蘇地域のPRに努めました。



地域振興関係では、コロナ感染対応策として、昨年度に引き続き地域元気再生支援事業の増額を行い、市町村のコロナ対応の動きをフォローしました。

加えて、阿蘇復興のシンボルイベントとして3年目を迎えた「ASO ロゲイニング」は、南阿蘇・高森を舞台に、250名の参加者を集めて開催し、定着しつつあります。

WITH コロナの情報発信としては、飲食店のコロナ感染対応を紹介する「ASO エール旅」やドローンを用いた「阿蘇のフットパス」。阿蘇くじゅう観光圏内の「まだ知らない、知られていないASO」をテーマに360度VRで体験する動画を作成するなどデザインセンター独自の動画を配信し、アフターコロナに向けての取り組みを行ないました。

加えて、阿蘇ナビの拡充を図りました。「阿蘇の食卓」「フットパス」「阿蘇くじゅう Free Wi-Fi Map」「サクラクオリティ」などのコンテンツを新設。より身近な情報発信に努めています。

また、事業を遂行するための基本財産運用益におきましては、コロナ禍に対応するための世界的な公的資金の投入による株価の上昇に加えて、ロシアのウクライナ侵攻による資源不足などから、資源大国である豪ドルが上昇し、年度後半からは運用益が好転し始めています。

昨年度に続きコロナ禍にもかかわらず、事業執行率は8割を越すことが出来ました。一方、会議や研修会がリモートに変わったことにより、出張費や旅費などに余剰が生じ、収支決算は△1,960千円となりましたが、昨年度までの繰越金3,131千円を相殺するには至らず、公益財団としての決算としては、来年度以降に課題を残しました。なお、令和3年度は、熊本県のふるさとくまもと応援寄付金(ふるさと納税)のNPO法人等支援分として、関西地方の篤志家から寄付がありました。

令和3年度収支決算（概要）

○収入について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78,362千円：①

（内訳）

基本財産運用益・・・・・・・・・・・・・・・・ 67,324千円

受取国庫補助金・・・・・・・・・・・・・・ 4,272千円

受取地方公共団体補助金・・・・・・・・・・ 2,000千円

受取民間助成金・・・・・・・・・・・・・・ 698千円

市町村等負担金(※)・・・・・・・・・・・・ 4,021千円

※阿蘇市、竹田市、高千穂町、高千穂町観光協会

雑収入等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47千円

○支出について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80,322千円：②

（内訳）

事業費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63,946千円

管理費(※)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16,376千円

※管理費には理事会費、顧問団等経費を含む

○収支差額（①－②）

△1,960千円：③

○前年度繰越金額

3,131千円：④

○翌年度繰越金額（③＋④）

1,171千円

Ⅱ. 評議員会・理事会・幹事会の開催について

1. 評議員会

法律並びに定款に定められた重要な事項を決定する評議員会を3回開催しました。

・第1回評議員会（書面決議）

①決議日 令和3年4月14日（水）

②同意事項

議案第1号 理事の選任について

議案第2号 評議員の選任について

議案第3号 議案第1号から議案第2号の提案を可決する旨の評議員会の決議があったとみなされる日は、令和3年4月14日とすることについて

・第2回評議員会

①開催日 令和3年6月7日（月）

②場 所 熊本県庁 地域振興課 会議室

③報告事項

報告第1号 事業報告について

④審議事項

議案第1号 令和2年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について

議案第2号 任期満了に伴う理事及び監事の選任について

議案第3号 任期満了に伴う評議員の選任について

・第3回評議員会（書面決議）

①決議日 令和3年6月24日（木）

②同意事項

議案第1号 評議員の選任について

議案第2号 議案第1号の提案を可決する旨の評議員会の決議があったとみなされる日は、令和3年6月24日とすることについて

2. 理事会

当財団の運営に関する事項を決議する理事会を7回開催しました。

・第1回理事会（書面決議）

①決議日 令和3年4月7日（水）

②同意事項

議案第1号 令和3年度第1回評議員会の開催について
議案第1号の提案を可決する旨の理事会の決議があったとみなされる日は、令和3年4月7日とすることについて

・第2回理事会

①開催日 令和3年5月24日（月）

②場 所 阿蘇広域行政事務組合 未来館 3階 会議室B

③審議事項

議案第1号 令和2年度事業報告について

議案第2号 令和2年度会計決算及び監査報告について

議案第3号 令和3年度第2回評議員会の開催について

④報告事項

報告第1号 任期満了に伴う理事及び監事の就任について

報告第2号 任期満了に伴う評議員の就任について

・第3回理事会

①開催日 令和3年6月22日（火）

②場 所 熊本県阿蘇総合庁舎 2階 大会議室

③審議事項

議案第1号 理事長及び副理事長の選定について

議案第2号 令和3年度第3回評議員の開催について

④報告事項

報告第1号 評議員の就退任について

報告第2号 （公財）阿蘇地域振興デザインセンター事業について

⑤協議事項

協議第1号 次期事務局長の公募について

・第4回理事会

①開催日 令和3年7月28日(水)

②場所 大阿蘇環境センター未来館 3階 会議室B

③審議事項

議案第1号 (公財)阿蘇地域振興デザインセンター事務局長公募について

・第5回理事会(書面決議)

①決議日 令和3年10月6日(水)

②同意事項

議案第1号 令和3年度第4回評議員会の開催について

議案第2号 議案第1号の提案を可決する旨の理事会の決議があったとみなされる日は、令和3年10月6日とすることについて

③報告事項

報告第1号 人事異動に伴う理事の就退任(案)について

・第6回理事会

①開催日 令和3年12月2日(木)

②場所 阿蘇市農村環境改善センター

③審議事項

議案第1号 (公財)阿蘇地域振興デザインセンター次期事務局長の選任(案)について

④報告事項 報告第1号 令和3年度上半期事業進捗状況について

・第7回理事会

①開催日 令和4年3月2日(水)

②場所 阿蘇草原保全活動センター 草原学習館

③審議事項

議案第1号 次期中期計画(令和4年度~8年度)について

議案第2号 令和4年度事業計画について

議案第3号 令和4年度会計予算について

議案第4号 「阿蘇地域元気再生支援事業実施要綱」の一部改正について

④報告事項

報告第1号 阿蘇ジオパーク推進協議会について

3. 幹事会

阿蘇 DC の事業運営に関する事項を協議し、意見を具申する幹事会を5回開催しました。

・第1回幹事会

- ①開催日 令和3年5月19日（水）
- ②場所 サンクラウン大阿蘇 1階ホール
- ③協議事項
 - 1) 令和2年度事業報告について
 - 2) 令和2年度会計決算報告について
- ④報告事項
 - 1) 任期満了に伴う理事及び監事の就退任について
 - 2) 任期満了に伴う評議員の就退任について

・第2回幹事会

- ①開催日 令和3年7月16日（金）
- ③場所 阿蘇地域振興局 2階 会議室
- ③協議事項
 - 1) 阿蘇地域振興デザインセンター事務局長公募について

・第3回幹事会

- ①開催日 令和3年9月27日（月）
- ②場所 大阿蘇環境センター未来館 会議室B
- ③協議事項
 - 1) 派遣職員に関する協定書の見直しについて
 - 2) 阿蘇地域振興デザインセンター中期計画について
- ④報告事項
 - 1) 事務局長応募状況について
 - 2) 有期雇用職員採用について

・第4回幹事会

- ①開催日 令和3年11月29日（月）
- ②場所 熊本県阿蘇総合庁舎 2階 大会議室
- ③報告事項
 - 1) (公財) 阿蘇地域振興デザインセンター次期事務局長募集審査経過について
 - 2) 令和3年度上半期事業進捗状況について

・第5回幹事会

①開催日 令和4年2月22日（水）

②場所 阿蘇市農村環境改善センター

③協議事項

- 1) 中期計画（令和4年度～8年度）
- 2) 令和4年度事業計画について
- 3) 令和4年度会計予算について
- 4) 阿蘇地域元気再生支援事業要綱の一部改正について

④報告事項

- 1) 阿蘇ジオパーク推進協議会について

Ⅲ. 事業報告

公益財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター（以下、阿蘇 DC）の中期計画に基づく令和 3 年度の事業実施状況は次のとおりです。

（単位：千円）

事業番号	事業の内容	個別事業	事業費
公益目的事業 1 （取り組み②） 21,005千円	豊かな自然による 世界ブランドの確立 ～阿蘇草原の 維持・再生～	公 1-共通人件費	3,511
		ア 草原再生 PR 事業	4,502
		イ 野焼き支援事業	1,502
		ウ 阿蘇産品の振興	1,485
		エ 世界ブランド事業の推進	10,005
公益目的事業 2 （取り組み①） 16,441千円	地域の元気再生によ る 地域力向上	公 2-共通人件費	3,606
		ア 地域元気再生支援事業	7,009
		イ 的確な情報の発信	1,707
		ウ 阿蘇回帰運動への取り組み	1,234
公益目的事業 3 （取り組み③） 26,500千円	広域連携による 競争力のある 観光地づくり	公 3-共通人件費	4,541
		ア 新たな阿蘇資産の構築・推進	3,811
		イ 広域連動型観光まちづくり	18,148
事業費総計			63,946

《公益目的事業 1

豊かな自然による世界ブランドの確立～阿蘇草原の維持・再生～》（取り組み②）

阿蘇 DC の中期 5 か年計画（平成 29 年度～令和 3 年度）に則り、安定的な財源を確保し恒久的な草原の保全を目的として、平成 27 年度に創設された「阿蘇草原保全支援システム」への負担を継続しました。具体的には、「阿蘇草原保全支援システム」の県市町村負担金 1,200 万円の 50% に当たる 600 万円を、構成 8 市町村分として負担いたしました。

令和 3 年度は、草原環境・体験事業の一環として、「草原ボランティア」や「地元小学生の草原環境・体験学習」、普及・啓発事業としてシンポジウム・講演会等や草原再生 PR や野焼き支援を行い、草原の維持・再生を推進しました。

【 ア 草原再生PR事業 】

事業内容	1. <u>阿蘇草原保全支援システムへ負担金支払（閲覧資料）</u> 草原景観維持の施策を地域統合的に検討実施する目的で熊本県主導のもとに立ち上げた「阿蘇草原保全支援システム」へ阿蘇 DC の事業を付託しました。	
決算額	【総額】	4, 5 0 2 千円
	① 阿蘇草原保全支援システム（支払負担金）	4, 5 0 0 千円
	② 事務経費（旅費交通費）	2 千円

【 イ 野焼き支援事業 】

事業内容	1. <u>阿蘇草原保全支援システムへ負担金支払（閲覧資料）</u> 草原景観維持の施策を地域統合的に検討実施する目的で熊本県主導のもとに立ち上げた「阿蘇草原保全支援システム」へ阿蘇 DC の事業を付託しました。	
決算額	【総額】	1, 5 0 2 千円
	① 阿蘇草原保全支援システム（支払負担金）	1, 5 0 0 千円
	② 事務経費（旅費交通費）	2 千円

【 ウ 阿蘇産品の振興 】

事業内容	<p>1. <u>阿蘇の花の回廊づくり構築・推進</u></p> <p>令和3年度も引き続き、阿蘇産品の振興と「復興・復旧」の景観づくりを目的に、『あそフラワーツーリズム（あそ花旅 春編・秋編）』を実施しました。本年度もチューリップの植栽を地域住民に依頼しました。多くの方の参加・協働により活動が定着し、学校関係者などから好評を得ています。</p> <p>同時に、インスタグラムによる『あそ花旅フォトコン』キャンペーンを行い、阿蘇エリアから春404点、秋471点の写真が寄せられました。また、阿蘇地域のギャラリーや道の駅のほか、イオンモール熊本にて入賞作品の写真展を開催、SNS と連携した交流及び関係人口増加の一助となりました。</p> <p>なお、阿蘇産品の振興を図るために、入賞者に対し、各市町村の特産品を副賞とし、阿蘇産品の認知度向上に努めました。</p>	
		

	<p>2. <u>阿蘇地域世界農業遺産（WaW との連携）</u></p> <p>コロナ禍における阿蘇地域世界農業遺産を巡る「阿蘇フットパス」の魅力化を発信し、アフターコロナを見据えた集客を図りたいという世界農業遺産協会の事業計画に準じて、ドローンを活用したコースの動画を作成し紹介しています。</p> <p>なお、阿蘇ナビに、新たにフットパスや阿蘇の食卓のコンテンツを設け、産品の振興を進めています。（令和3年度：20,321PV）</p>	 <p>阿蘇フットパスの様子</p>
決算額	<p>【総額】</p> <p>① 阿蘇の花の回廊づくり構築・推進</p> <p>② 阿蘇地域世界農業遺産との連携</p> <p>③ 事務経費（旅費交通費）</p>	<p>1,485千円</p> <p>638千円</p> <p>799千円</p> <p>48千円</p>

【 エ 世界ブランド事業の推進 】

事業内容	<p>1. <u>阿蘇ジオパーク推進協議会へ負担金支援（閲覧資料）</u></p> <p>阿蘇の火山や地形地質をテーマにしたジオパーク活動や景観保全、地域住民の意識向上や誇りの醸成に繋がる活動のために、「阿蘇ジオパーク推進協議会」（事務局：阿蘇火山博物館内）へ負担金による支援を行いました。</p> <p>令和3年度の主な事業は、①資料や情報の収集保存②調査研究、③ジオサイトの保全・整備、④教育・普及活動、⑤情報発信、⑥ネットワーク活動の推進⑦ジオツーリズムの促進を通じて、昨年度作成したジオパーク基本計画の目的である「大地の成り立ちと人々との関わり」に感動を持って豊かに暮らせる阿蘇づくり」を連携し推進して行きます。</p>	 <p>ジオパーク推進協議会の活動</p>
決算額	<p>【総額】</p> <p>① 阿蘇ジオパーク推進協議会（支払負担金）</p> <p>② 事務経費（旅費交通費）</p>	<p>10,005千円</p> <p>10,000千円</p> <p>5千円</p>

《公益目的事業 2 地域の元気再生による地域力向上》（取り組み①）

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染の影響が続くなか、地域の経済の低迷など、阿蘇地域全体の元気を再生することが重要であり、そのために地域の団体などが行う活動に対し支援を行いました。

また、阿蘇ナビの充実を図るとともに、インスタグラムによるフォトコンテストを開催し、展覧会を阿蘇地域内やイオンモール熊本で行いました。

令和3年度の新たな取り組みとして「あそ未来創造塾」をスタートさせ、次代の担う人材育成に努めるとともに、地域づくりセミナーを2回開催しました。

【 ア 地域元気再生支援事業 】

事業内容	<p>1. <u>令和3年度阿蘇地域元気再生支援事業（添付資料①）</u></p> <p>地域の元気再生による地域力向上をめざし、地域の自然、文化、歴史、産業、生活習慣等の特性を地域資源として発見、活用し、魅力ある地域づくりと地域の活性化を図ることを目的とした取り組みに対し助成を行いました。</p> <p>平成28年4月熊本地震発災以降は、「地域の元気を取り戻すための復興に関する事業」について助成を行っています。また、令和3年度は2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大より多大な影響を受けた分野への支援も条件に、助成額を増額補正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上限 <u>75万円</u> ⇒ (増額補正後) <u>100万円</u> ・助成対象経費の <u>60%以下</u> ⇒ (増額補正後) <u>2/3以下</u> <p>【助成事業数11件 ※】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①田子山再開発プロジェクト事業（阿蘇市 内牧温泉街繁栄会） ②黒川温泉60周年・湯あかり10周年を契機とした観光地域づくり事業（南小国町観光協会） ③小国高等学校キャリア教育事業（小国高等学校キャリア教育推進協議会） ④福運三社参り活動促進事業（小国町 一番街商店街） ⑤池山水源ライトアップ事業（産山村観光協会） ⑥熊本吹奏楽 in 高森（高森町役場） ⑦おとな、こどもも、阿蘇でつながろう。地域の未来を考える。（南阿蘇村 一般社団法人 Feel&Sence） ⑧小池水源ホテルの里復活事業（一般社団法人 みなみあそ観光局） ⑨地元西原村で家族でみんな笑顔になろうプロジェクト（西原村商工会青年部）
------	--

	<p>⑩八王社例大祭鬼神どんまつり（西原村 宮山八王社例大祭まつり実行委員会）</p> <p>⑪そよ風パークレストランリニューアル事業（山都町 株式会社エネルギープロダクト）</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 小国町 産山村 南小国町 </div>
決算額	<p>【総額】 7, 0 0 9 千円</p>
	<p>① 阿蘇地域元気再生支援事業助成金 6, 9 4 2 千円</p>
	<p>② 事務経費 6 7 千円</p>

【 イ 的確な情報の発信 】

事業内容	<p>1. <u>観光情報ポータルサイト「阿蘇ナビ」と関連コンテンツの管理・運営・保守</u></p> <p>「ASONAVI（阿蘇ナビ）」のほか、ホームページや SNS を活用して、鮮度の高い情報発信を図っています。</p> <p>特に ASONAVI においては、サイトをハブにした展開を図るとともに、ASO フットパスや阿蘇の食卓、阿蘇くじゅう Free Wi-Fi、サクラクオリティなどとのコンテンツの共有を進めることで、様々な情報を ASONAVI 集約致しました。</p> <p>また、SNS を活用した情報発信として、フェイスブックやインスタグラムを通じて、日常的な情報発信を行っています。</p> <p>『阿蘇ナビ』の URL</p> <p>http://aso-navi.com/ja/top/</p> <p>2. <u>阿蘇 DC ホームページの管理・運営・保守</u></p> <p>当財団ホームページの管理・運営・保守を行いました。</p> <p>HP 閲覧数：</p> <p>（令和3年度） 2 0, 1 8 3 PV</p> <p>（令和2年度） 1 4, 1 8 4 PV</p>
------	---

3. 地域住民に身近な情報媒体での情報発信

あそ未来創造塾（公2-エ）や観光地域づくりリーダー育成講座（公3-イ8）の様子を、管内のCATVやWEBテレビで配信しました。また、インスタグラムコンテスト（つながる阿蘇・ASO冬キャンプ・あったかグルメ）を開催し誘客を図りました。



4. 情報誌の制作（添付資料②）

阿蘇 DC の事業内容を掲載した阿蘇の人のための情報誌『aso lulu』第22号を発行しました。

発行部数：2,500部 ※

※当財団HPからも閲覧いただけます。

http://www.asodc.or.jp/library/data_asolulu/asolulu21.pdf

5. 大学・企業との連携

セミナー報告書の編集等に関して連携して作成しました。

	【総額】	1,707千円
決算額	① 阿蘇ナビ等の管理・運営・保守	283千円
	② 当財団ホームページ管理・運営・保守	151千円
	③ 地域住民に身近な情報媒体での情報発信	743千円
	④ 情報誌の制作	530千円
	⑤ 大学・企業との連携（公2-エに計上）	0千円

【 ウ 阿蘇回帰運動への取り組み 】

事業内容	<p><u>1. ふるさと回帰フェア出展及び相談会の開催</u> 東京交通会館12階（ダイヤモンドホール）にての「九州・山口・沖縄発見フェス2021（令和3年7月4日）」に出展しました。</p> <p><u>2. 福岡都市圏における移住・定住キャンペーン</u> 福岡市西区の「木の葉モール橋本」にて開催された『第3回 ASOへ行こう！ASOに住もう！フェア』に出展しました。 移住・定住相談会は、コロナ禍で縮小となり、阿蘇地域への観光PR主体に変更しました。 なお、あわせて各市町村の移住・定住相談会担当者会議を開催。その後、パルコと大名小学校廃校地に創設された「コアワーキングスペース」や「スタートアップ支援施設」を視察研修しました。</p> <p>ASO に行こう！ASOに住もうフェア！</p> <p><開催日時及び会場> ・日 時：令和3年10月16日（土曜日）午前10時～午後4時30分 ・会 場：木の葉モール橋本 1階イベントコーナー（福岡市西区）</p> <p><u>3. 阿蘇地域における移住定住に関する情報の交換</u> 8月に山都町の地域仕事センターの取り組みについて意見交換会を開催予定でしたが、まん延防止等重点措置の発令により中止となりました。</p>								
決算額	<p>【総額】 1, 234千円</p> <table border="1"> <tr> <td>① ふるさと回帰フェア出展及び相談会の開催</td> <td>114千円</td> </tr> <tr> <td>② 福岡都市圏における移住・定住キャンペーン</td> <td>873千円</td> </tr> <tr> <td>③ 阿蘇地域における移住定住に関する情報の交換</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>④ 事務経費</td> <td>247千円</td> </tr> </table>	① ふるさと回帰フェア出展及び相談会の開催	114千円	② 福岡都市圏における移住・定住キャンペーン	873千円	③ 阿蘇地域における移住定住に関する情報の交換	0千円	④ 事務経費	247千円
① ふるさと回帰フェア出展及び相談会の開催	114千円								
② 福岡都市圏における移住・定住キャンペーン	873千円								
③ 阿蘇地域における移住定住に関する情報の交換	0千円								
④ 事務経費	247千円								



【 エ 人材育成事業 】

1. 地域づくりに関する研修会などの開催（添付資料③）

自治体などから、次代を担う人材育成の場づくりや地域づくりに関する情報の取得の場を設けて欲しいという声が多いことから、令和3年度においては、地域振興などに関する研修会を開催しました。

第1回 地域づくりセミナー

講師：金岡 省吾

熊本大学熊本創生推進機構教授

演題：「地方創生・人口減少の歯止めのための地域づくりを学ぶセミナー」

日時：令和3年7月14日（水）

午後1時～午後4時

場所：阿蘇市農村環境改善センター

参加者：19名（その他 Web 参加者15名）



事業内容

第2回 地域づくりセミナー

講師：宮口侗廸早稲田大学名誉教授

（前総務省過疎問題懇談会座長）

演題：過疎に打ち克つ！

～都市にはない価値を求めて～

日時：令和4年3月11日（金）

午後1時～午後4時

場所：サンクラウン大阿蘇

参加者：21名（その他 Web 参加者25名）



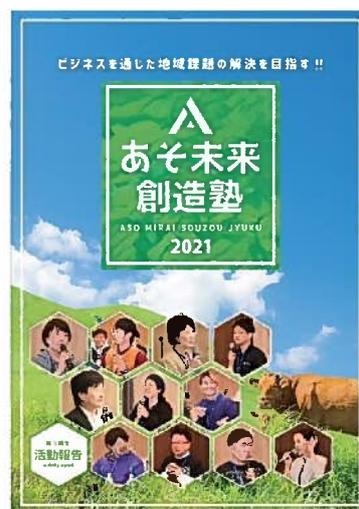
2. あそ未来創造塾の開講（添付資料④）

「あそ未来創造塾」は、阿蘇地域振興デザインセンターと熊本大学が主催する地元若手事業者のための起業支援プログラムで、令和3年10月～令和4年3月の間に全12回のカリキュラムを実施しました。阿蘇地域の若手事業者11名が1期生として受講しました。

あそ未来創造塾の他にも八代市・玉名市・天草市でも開講（4年度から

は菊地市も開設)。その他、先行している和歌山県田辺市や富山県南砺市などともハイブリッドセミナーによる同時開講の取り組みも行いました。なお、九州財務局や日本政策投資銀行熊本支店、熊本県信用保証協会などの金融機関などの後援も得て、起業家に向けた支援体制も確立しました。

現在、産山村の修了生が甘酒(うぶあま)を製造、販売をスタートするなどそれぞれの修了生が各地域で具体的な活動を進めています。修了生同士のネットワークも生まれ、お互いに交流を通して切磋琢磨しています。



あそ未来創造塾

決算額	【総額】	2, 885千円
	① 地域づくりに関する研修会の開催	367千円
	② あそ未来創造塾の開講	2, 310千円
	③ 事務経費	208千円

《公益目的事業3 広域連携による競争力のある観光地づくり》（取り組み③）

令和3年度においては、新たな阿蘇資産として構築することを目的に、西原村を皮切りにスタートした「ASO ロゲイニング大会」も、南阿蘇・高森開催で3年目を迎えました。参加者数も250名となり、年を重ねるごとに増加するとともにリピーター率も向上し、地域の資産を活かしたスポーツアクティビティとして定着しつつあります。

広域連動型観光まちづくりにおいては、新型コロナウイルスによる世界的な感染拡大の影響を受け、訪日外国人数は入国制限もあり厳しい状況が続きました。

国内旅行者においては、まん延防止等重点措置の度重なる適応、解除の繰り返しにより、増減を繰り返す一年であったと言えます。

そのような状況を踏まえ、国の国内旅行者を対象にした施策に政策転換したことも在り、当財団としても国内旅行者や近隣からの旅行者を対象とした取り組みを重点的に行いました。

また、飲食関係におけるコロナ感染拡大の影響も大きく、阿蘇地域の対応策を広く周知することを目的に動画を作成しました。

【 ア 新たな阿蘇資産の構築・推進 】

事業内容	<p>1. ASO ロゲイニング大会2021 in 南阿蘇・高森(添付資料⑤)</p> <p>歩くことの文化化を図る事業として、㈱南阿蘇鉄道の協力も頂き、令和3年11月13日(土)に「ASO ロゲイニング2021 in 南阿蘇・高森」を㈱YAMAPの支援を得て開催しました。</p> <p>1年目は西原村で実験的に開催(70名参加)、2年目には阿蘇市で開催(100名参加)、本年度は南阿蘇・高森で開催し、250名の参加を得ることが出来ました。</p> <p>名所旧跡や名水、名店、名山などの歩きを基本にしながらも、南阿蘇鉄道や公共交通(バス)を利用し109のチェックポイントを戦略的に押さえる一般向けのコースと周遊を楽しみながら回るファミリーコースの2コースを楽しんで頂きました。</p> <p>参加者の安全確保対策として、見守り機能のアプリが活用できることも、次世代のアクティビティとして期待が高まっていると言えます。</p> <p>全国ではフォトやフードと冠したロゲイニングも開催されつつあり、今</p>
------	--



ASO ロゲイニング大会2021

後は、コンテンツ別のバリエーションの可能性も期待できます。

2. 阿蘇エコツーリズム協会支援（閲覧資料）

阿蘇エコツーリズム協会の HP 維持管理及びツアー調査事業の支援を行いました。なお、阿蘇ガイド養成講座はコロナ感染拡大により順延となりました。

3. 阿蘇グリーンツーリズム協議会の支援（閲覧資料）

阿蘇グリーンツーリズム協会による視察研修受け入れの支援を行いました。なお、予定されていた四国（祖谷地区）への視察研修は、まん延防止等重点措置により中止しました。



視察研修の受け入れ
(阿蘇G T協議会)

4. 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金（閲覧資料）

令和3年4月に予定されていた阿蘇山上ビジターセンターの運営協議会はまん延防止等重点措置により延期となりました。

5. （公社）熊本県観光連盟への参画

熊本県観光連盟が主催する「事務局長会議」に参加し、県下の観光協会と情報共有を図りました。

- ・令和3年6月18日（金）開催の総会に出席
- ・令和3年11月9日（火）事務局長会議にオンライン参加

6. 各種観光 PR イベントへの参加・出展

本年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年開催のイベントの中止が続いたため参加や出展は見送りました。代替事業として、ASO ロゲイニング大会2021等 DC 主催のイベントにて阿蘇地域の観光 PR を行いました。

決算額	【総額】	3, 8 1 1 千円
	① 第2回 ASO カルデラロゲイニング大会の開催	2, 7 6 1 千円
	② 阿蘇エコツーリズム協会負担金	3 0 0 千円
	③ 阿蘇グリーンツーリズム協会負担金	3 0 0 千円
	④ 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金	1 0 0 千円
	⑤ （公社）熊本県観光連盟負担金	1 0 0 千円
	⑥ 各種観光 PR イベント出展	2 5 0 千円

【 イ 広域連動型観光まちづくり 】

事業内容	<p>令和3年度においても、新型コロナウイルスによる移動の制限に伴い、国の方針も「訪日外国人旅行者」を対象とした事業に加え、「日本国内旅行者」をターゲットとしたマイクロツーリズム事業なども促進するという方針を念頭に置いた新たな旅のスタイルを構築することに主眼をおきました。</p> <p><u>1. 広域周遊観光促進のための新たな観光地域支援事業</u></p> <p>観光庁事業である「広域周遊観光促進のための新たな観光地域支援事業」を全国観光圏推進協議会加盟の13観光圏の共通事業として行いました。また自治体からの申請事業や国の直轄事業についても対応致しました。</p> <p>《国土交通省／観光庁助成事業》</p> <ul style="list-style-type: none">・阿蘇くじゅう観光圏マーケティング調査事業【定額補助】 阿蘇地域関係市町村及び竹田市・高千穂町にある170の宿泊施設に対し同調査を留め置き形式で夏冬2回実施しました。(添付資料⑥) 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による非常事態宣言などの影響を受け、調査票回収が夏季126件、冬季が200件となり、令和2年度と比較すると向上しました。(外国人ヒアリング調査は冬季に実施)・全国観光圏推進協議会共通事業【定率補助】<ul style="list-style-type: none">①全国観光圏推進協議会（5回） 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、すべてオンライン形式で参加しました。②観光地域づくりマネージャーレベルアップ研修（3回9名参加） 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、すべてリモート形式で受講しました。③ Undiscovered Japan 情報発信事業（自主事業として実施）④ VISIT JAPAN トラベル&MICE マート商談会参加 <p>《市町村関係事業》</p> <ul style="list-style-type: none">・アドベンチャー&ウェルネス事業（阿蘇市） <p>《新たなコロナ対策事業》</p> <p>観光庁事業（地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業）に申請した2本が不採択となったため、独自事業と</p>
------	---

して下記の事業を実施しました。

①YouTube での「ASO エール旅」の配信

阿蘇地域コロナ感染症安全宣言 PR 事業を企画し、阿蘇地域の飲食店における新型コロナウイルス感染症に対する安全対策を PR する動画「ASO エール旅」を制作し YouTube で配信しました。

②ライドアクティビティマップの発行

アフターコロナの訪日外国人旅行者誘客を見据えて、各市町村の体験プログラムをまとめた「ライドアクティビティマップ」を作成し配布しました。



ライドアクティビティマップ

2. 九州3観光圏連携事業

九州3観光圏連携によるインバウンド広域周遊の商品化を目標に掲げ連携事業などを行いました。インバウンド広域周遊商品化としてファムツアーを企画しましたが、まん延防止等重点措置により延期となりました。

3. 阿蘇くじゅう観光圏観光品質認証制度継続事業

宿泊施設などの観光サービスの品質の高さを認証する観光品質認証制度「SAKURA QUALITY」は、コロナ感染拡大の影響を受けて順延となりました。宿泊施設の休館や新加入が一部生じたため、新たに改訂版を作成しました。

4. 中九州DMO連携事業

中九州DMO連携事業（アドベンチャートラベルサミット2021日本大会）に関しては、コロナの影響で調整がつかず会議は中止となりました。

5. 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議の運営・支援

阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議に関しては、観光圏HPを見直し、管理・運営をASONAVIに集約し、これまでの内容はアーカイブとして保管しています。

九州運輸局による事業説明と阿蘇くじゅう観光圏のアドバイザーである柏木千春大正大学教授をお招きし、研修会『観光地域づくりセミナー「女性の力」～市場を拓く地域を変える～』を開催しました。柏木アドバイザーの提案を受け



素敵女子のおしゃべり時間

「素敵女子のおしゃべり時間」と題して、阿蘇くじゅう高千穂エリア内の女性の人材育成とネットワーク化に向けて研修会を2回開催し、阿蘇くじゅう観光圏の女性のつながりの強化に努めました。(添付資料⑦)

会員から提案された「ツーリストマップの改訂版」(表面が日本語版、裏面が英語版)の作成を阿蘇広域観光連盟(AATA)と連携して発行しました。

なお、11月に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、2022年に延期となりました。

「まだ知らない。知られていないASO」をKYOTO3Dスタジオや096K熊本歌劇団と連携して、旅の動画を作成しました。

また、観光地域づくりマネージャー育成事業に関しては、不在となっていた産山村及び山都町から受講生2名が、観光庁の研修会(オンライン)に参加しました。阿蘇くじゅう観光圏の観光地域づくりマネージャーレベルアップ研修についても3回実施しました。

6. 国内旅行者誘客振興事業

「食文化支援事業」に関しては、予定していた連携の組み合わせが変わったことから、インスタグラムフォトコンテストの優秀作品などを編集した「年度カレンダー～ASOSKY」を作成しました。



カレンダーASO SKY

「オンラインツアー構築事業」につきましては、新型コロナウイルス感染症の減少により、自粛が緩和されたことで、リアルなツアーへの対応に変更、具体的には大阪で開催される第1回日本観光ショーケースin大阪・関西に出展し阿蘇地域の観光プロモーションを実施しました。(発行部数：1,000部)

「マイクロツーリズム対応事業」につきましては、「阿蘇の秋」をテーマに作成した阿蘇地域の動画を、熊本と博多のデジタルサイネージを活用して発信しました。

・掲載期間：令和3年11月1日～30日

	<p>・掲載場所：サクラマチクマモト：57基 JR博多駅：2か所4基 (博多駅メインコンコース総合案内所) (博多駅北改札口)</p> <p>7. <u>世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業</u> 令和3年度においても、中九州3観光圏連携事業などが評価を受け、重点支援DMO(全国に37法人)に認定されました。一方で、重点支援DMO実地研修会(釜石)はコロナ感染拡大で中止となりました。</p> <p>8. <u>地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業</u> 申請事業下記2件が不採択となりました。 ①復興からさらなる振興事業：阿蘇の山紫水明を五感で楽しむアウトドアコンテンツ創出・展開 ②阿蘇の森事業：林業をはじめとする外輪山地域の産業と観光の連携による新たな需要創出 代替事業として、地域づくり夢チャレンジ推進補助金を活用し、下記事業を実施しました。 ○観光地域づくりリーダー養成講座 8市町村の観光協会や地域おこし協力隊、行政担当者の若手10名を対象に「来訪者の消費額をUPさせる企画書づくり」を学ぶ観光地域づくりリーダー養成講座を開講しました。</p> 																
決算額	<p>【総額】18,148千円</p> <table border="0"> <tr> <td>① 広域周遊観光促進のための観光地域支援事業 (内訳)</td> <td>9,861千円</td> </tr> <tr> <td> 観光庁補助金</td> <td>4,272千円</td> </tr> <tr> <td> 市町村負担金・補助金</td> <td>4,021千円</td> </tr> <tr> <td> 阿蘇DC自主財源 (自主事業、国庫補助対象外経費)</td> <td>1,568千円</td> </tr> <tr> <td>② 九州3観光圏連携事業</td> <td>157千円</td> </tr> <tr> <td>③ 阿蘇くじゅう観光圏観光品質認証制度継続事業</td> <td>248千円</td> </tr> <tr> <td>④ 中九州DMO連携事業</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>⑤ 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議負担金</td> <td>1,060千円</td> </tr> </table>	① 広域周遊観光促進のための観光地域支援事業 (内訳)	9,861千円	観光庁補助金	4,272千円	市町村負担金・補助金	4,021千円	阿蘇DC自主財源 (自主事業、国庫補助対象外経費)	1,568千円	② 九州3観光圏連携事業	157千円	③ 阿蘇くじゅう観光圏観光品質認証制度継続事業	248千円	④ 中九州DMO連携事業	0千円	⑤ 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議負担金	1,060千円
① 広域周遊観光促進のための観光地域支援事業 (内訳)	9,861千円																
観光庁補助金	4,272千円																
市町村負担金・補助金	4,021千円																
阿蘇DC自主財源 (自主事業、国庫補助対象外経費)	1,568千円																
② 九州3観光圏連携事業	157千円																
③ 阿蘇くじゅう観光圏観光品質認証制度継続事業	248千円																
④ 中九州DMO連携事業	0千円																
⑤ 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議負担金	1,060千円																

⑥ 国内旅行誘客振興事業 (内訳)	3, 3 3 2 千円
年度カレンダー「ASOSKY」	1, 1 9 3 千円
日本観光ショーケース in 大阪・関西出展	1, 2 0 4 千円
マイクロツーリズム対応(デジタルサイン)事業	9 3 5 千円
⑦ 世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業 中核人材の育成(アドベンチャーラベルサミット2021)	0 千円
⑧ 地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業	2, 8 8 7 千円
⑨ 事務経費	6 0 3 千円